

シルバーパスの改善を求める意見書

高齢者が気軽に外出でき、社会参加を促すことを目的に作られたシルバーパスは、当初は無料で 70 歳以上の都民に配布されていた。2000 年度から全面有料化され、非課税者は 1,000 円、それ以外は 20,510 円の負担が求められることになった。所得 125 万円を超えると、一挙に 20,510 円になるため、パスの購入をためらう人が増え、70 歳以上の 5 割に満たない人しか利用していない。1,000 円のパスの利用者が 2012 年度までの 5 年間で 19%増えているのに、20,510 円パスの利用者は 10.6%減っていることにも表れている。利用者総数でも 47.7%（2012 年度）とシルバーパスの発行数は減る一方である。

さらに年金が 2%も減らされたうえ消費税増税が追い打ちをかけ、高齢者の生活実態も厳しさを増している。高齢者が外出し、生き生き活動することは介護予防の効果も大きく、シルバーパスの意義はますます高まっている。所得に応じて、段階的に負担を軽減することで、シルバーパスを高齢者がもっと有効に利用できるようにすることが求められている。

また、現在は地域や交通機関が限定され、シルバーパスが利用しにくい地域がある。都県境での他県を通行する場合の利用を認めるなど、シルバーパスがどの地域でも、公平に活用できるように改善すべきである。

よって、町田市議会は東京都に対し、次の事項を実施するよう強く求めるものである。

一、シルバーパスの料金を所得に応じて軽減すること。

一、都県境をまたぐバス路線でもシルバーパスを利用できるようにすること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。